

和親は「仲良くしようぜ」って意味

1854年日米和親条約を結ぶ

翌年ペリーは再びやって来た。でも幕府は「ああでもないこうでもない」と結論を出せず。キレたペリーは大砲を**どん!**
ビビった幕府は「開国」を決めてしまったんだ。

- ・ **下田（静岡）函館（北海道）の開港**
- ・ **日本に領事を置く**



この時日本に来たのが**ハリス**！ハリスは大老（今の首相）の**井伊直弼**に「貿易をしようぜ！」と迫っていた。
なぜって？**アメリカの商品を日本に売れば儲かるから！**

修好=仲良く 通商=貿易 仲良く貿易しようぜって意味

1858年日米修好通商条約を結ぶ

結局、井伊直弼はハリスの押しに負けてアメリカとの貿易を開始してしまう。コレがどんな結果になるのか、、、。

- ・ **神奈川、長崎、新潟、兵庫の開港**
- ・ **“治外法権”を認める(ーωー;)**
- ・ **“関税自主権”はナシ(ーωー;)**

注目！



治外法権

フツー外国に行けばその国の法律に従うよね？（シンガポールではゴミを捨てたら罰金8万円！）でも、この治外法権があれば「その国の法律に従わなくていい」んだ。

つまり、**日本にいる外国人は日本の法律で裁けない**、という内容だ。逆に当時日本人がアメリカに行ったら、、、もちろんそれはダメ。一方的に決められた不平等な内容だった。